

釧路湿原自然再生に係る市民参加・環境教育等の 推進方策調査懇談会について

1. 目 的

釧路湿原自然再生事業を将来にわたって効果的に進めていくためには、地域とのコミュニケーションや協働のあり方、自然再生を活かした環境教育の可能性を十分検討することが重要。

このため釧路湿原における自然再生事業の一環として、市民参加・環境教育等の推進方策調査を（財）北海道環境財団に委託し、同財団のもとに標記懇談会を設置。

2. 懇談会委員

有山 忠男	（株）ライブ環境計画代表取締役社長
新庄 久志	釧路国際ウエットランドセンター主幹
高嶋八千代	北海道教育大学釧路校講師
高橋 忠一	北海道教育大学釧路校助教授
○辻井 達一	（財）北海道環境財団理事長
古屋 接雄	北海道標茶高等学校校長
丸山 博子	丸山環境教育事務所
（敬称略、50音順、○印は座長）	

3. 懇談会での主な検討テーマ

- （１）釧路湿原の自然再生をめぐるコミュニケーションのあり方
- （２）釧路湿原の自然再生をどのように環境教育に活用していくか
- （３）釧路湿原の自然再生への市民参加のあり方
- （４）これらを進めるための「場」として何が必要か

* アウトプット項目案

釧路湿原の保全における市民参加や環境教育のレビューと課題の整理
 国内外の保全・再生プロジェクトにおける市民参加や環境教育の先進事例
 自然再生をめぐる地域内外とのコミュニケーションのあり方
 自然再生を活かした環境教育の可能性
 自然再生への市民参加・連携のあり方
 以上を進めるための「場」の提案 —— 観察フィールド、自然再生センター構想

これまで２回懇談会を開催。今年度内を目途に提言をとりまとめる予定。